

中医協 総-1-5
19.5.16

平成 18 年度診療報酬改定結果検証に係る調査
後発医薬品の使用状況調査
報 告 書

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査項目	2
5. 結果	3
(1) 回収の状況	3
(2) 薬局の属性(平成18年10月)	4
(3) 取り扱い処方せんの状況(平成18年10月)	8
(4) 後発医薬品への対応の状況(平成18年10月)	21
(5) 医薬品の備蓄状況(平成17年10月および平成18年10月)	36
(6) 後発医薬品へ変更した場合の、保険医療機関への情報提供	42
(7) 後発医薬品の使用状況(平成18年10月23日～29日の状況)	47
6. まとめ	50
7. 調査票	51

1. 調査の目的

保険薬局における「後発医薬品への変更可」に処方医の署名等がある処方せんの受付状況等の把握、および保険薬局において実際に後発医薬品に変更して調剤した医薬品の状況等の把握を目的とした。

2. 調査対象

全国の保険薬局から無作為抽出（都道府県別に層化）した1,000施設であり、「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」の調査対象と同一である。

3. 調査方法

自記式調査票の郵送配布・郵送回収とし、本調査の調査票と「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」の調査票を同封して配布した。調査は平成18年11月に実施した。

本調査では、施設属性、処方せん枚数等を尋ねる様式1と、実際に調剤した薬剤料を尋ねる様式2を配布した。様式2においては、後発医薬品への変更状況について、薬局の負担を軽減し回収率を上げるため、10/23～10/29の1週間の状況に限定して調査した。

4. 調査項目

施設属性および後発医薬品の使用状況について調査した。

図表 1 調査項目

区分	内容
様式1(施設調査票)	<ul style="list-style-type: none">所在地、組織形態、職員数、調剤基本料の種類、基準調剤加算の有無主な処方せん発行医療機関および当該医療機関に係る処方せん割合1ヶ月の取り扱い処方せん枚数および「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん枚数、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん枚数後発医薬品への対応状況（「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応、後発医薬品への変更に関する患者さんに対する平均説明時間等）後発医薬品へ変更した場合の銘柄等情報の医療機関への情報提供の方法、頻度、医療機関から受けた要望等後発医薬品の備蓄状況後発医薬品の使用促進策に関する問題点、課題等
様式2(後発医薬品調剤情報票)	<ul style="list-style-type: none">処方せんへの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料および実際に調剤した（後発医薬品を含む）薬剤料

5. 結果

(1) 回収の状況

様式1(施設調査票)の有効回収数は635であり、回収率は63.5%であった。このうち、10/23~29の期間内に後発医薬品へ変更した保険薬局(様式2(後発医薬品調剤情報票)を記入した薬局)は177施設であった。

また、様式2(後発医薬品調剤情報票)に記載されていた処方せんの数(10/23~29に、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等があり、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数)は、1,032であった。

図表 2 回収の状況

調査票	有効回収数	回収率
保険薬局数(様式1)	635	63.5%
様式2に記載された処方せん枚数(177薬局分)	1,032	—

※ 白票、記載銘柄により調剤した場合の処方せんの薬剤料が後発医薬品を調剤した場合の薬剤料以上の点数である処方せん枚数、様式1と突合不能な票を除いたものを有効回収数とした。

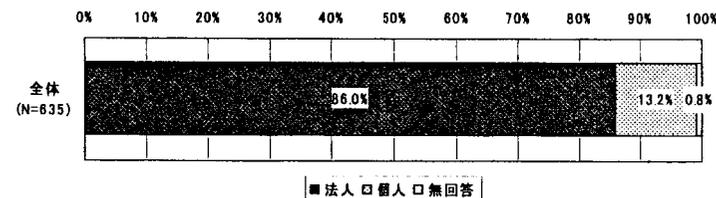
(2) 薬局の属性(平成18年10月)

1) 組織形態

(ア) 組織形態

組織形態についてみると、「法人」(86.0%)が最も多く、次いで「個人」(13.2%)となっている。

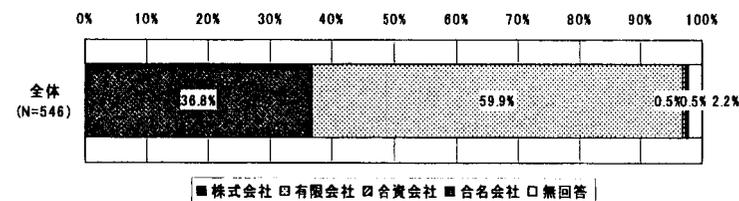
図表 3 組織形態



(イ) 法人の種類

組織形態が「法人」の546施設において、法人の種類についてみると、薬局全体では「有
限会社」(59.9%)が最も多く、次いで「株式会社」(36.8%)となっている。

図表 4 組織形態(法人の種類)

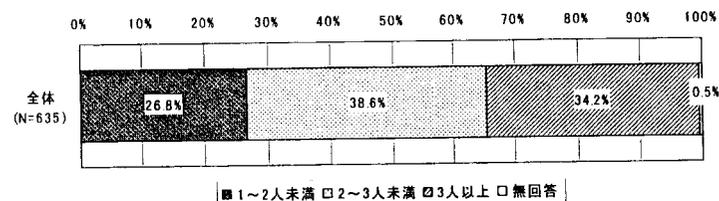


2) 職員数（常勤換算）

(ア) 薬剤師

薬剤師の職員数（常勤換算）についてみると、「2～3 人未満」（38.6%）が最も多く、次いで「3 人以上」（34.2%）となっている。

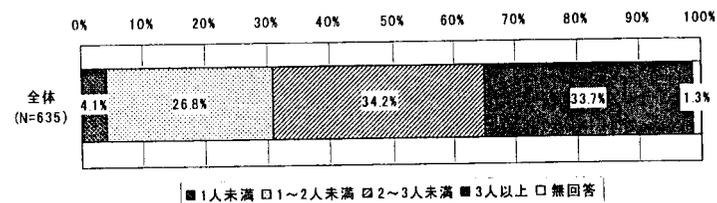
図表 5 薬剤師の職員数（常勤換算）



(イ) その他（事務職員等）

その他（事務職員等）の職員数（常勤換算）についてみると、「2～3 人未満」（34.2%）が最も多く、次いで「3 人以上」（33.7%）となっている。

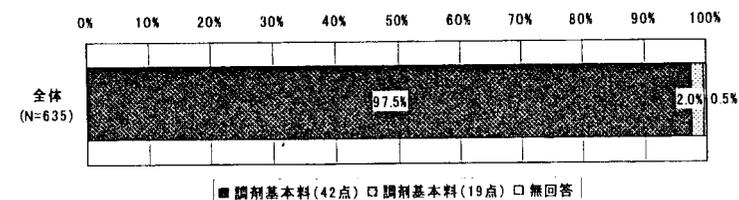
図表 6 その他（事務職員等）の職員数（常勤換算）



3) 調剤基本料

調剤基本料についてみると、「調剤基本料（42点）」（97.5%）が殆どを占めている。

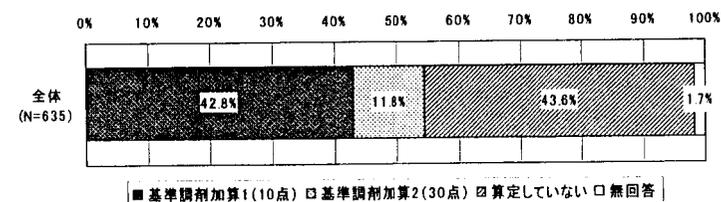
図表 7 調剤基本料



4) 基準調剤加算

基準調剤加算についてみると、「算定していない」（43.6%）が最も多く、次いで「基準調剤加算1（10点）」（42.8%）となっている。

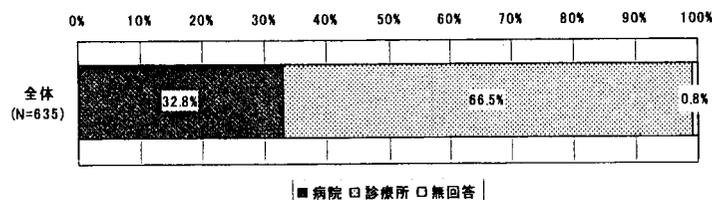
図表 8 基準調剤加算



5) 主な処方せん発行医療機関

主な処方せん発行医療機関についてみると、「診療所」が66.5%、「病院」が32.8%となっている。

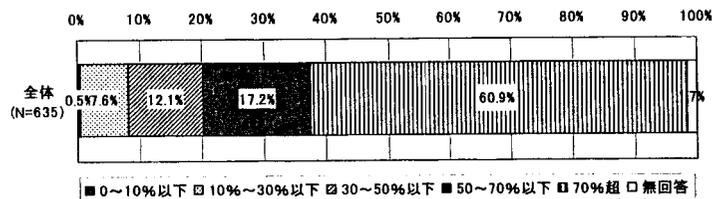
図表 9 主な処方せん発行医療機関



6) 特定の保険医療機関に係る処方せん割合（最も多いもの）

特定の保険医療機関に係る処方せん割合についてみると、「70%超」（60.9%）が最も多く、次いで「50～70%以下」（17.2%）となっている。

図表 10 特定の保険医療機関に係る処方せん割合（最も多いもの）



(3) 取り扱い処方せん状況（平成 18 年 10 月）

1) 取り扱い処方せん枚数

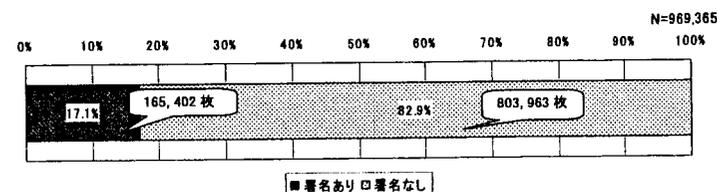
1ヶ月全体の全ての取り扱い処方せん枚数についてみると、全保険薬局における合計枚数は969,365枚であり、平均1,543.57枚となっている。このうち、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん枚数は全体で165,402枚（全処方せん枚数の17.1%）であり、平均は268.95枚であった。また、このうち、「後発医薬品へ変更可」欄に処方医の署名等はあるが、処方せんに記載されたすべての銘柄について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更することができない処方せん枚数は、合計14,278枚（平均25.09枚）であり、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数（1品目でも変更した場合を含む）は、合計9,452枚（平均15.60枚）であった。全処方せん枚数に占める、実際に後発医薬品に変更した処方せんの割合は、0.98%（=9,452/969,365）であった。

図表 11 取り扱い処方せん枚数

	全体 (N=635)	
	全枚数	1薬局あたりの平均枚数
①全ての取り扱い処方せん枚数	969,365	1,543.57
②うち、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん枚数	165,402	268.95
③うち、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数（1品目でも変更した場合を含む）	9,452	15.60
④うち、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん枚数	5,320	8.88
⑤「後発医薬品へ変更可」欄に処方医の署名等はあるが、処方せんに記載されたすべての銘柄について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更することができない処方せん枚数	14,278	25.09

※ 平均枚数については、枚数の欄に回答があった施設のみの平均値である。

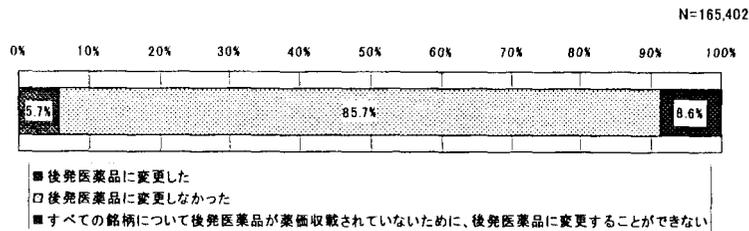
図表 12 全ての処方せんにおける、「後発医薬品への変更可」欄への処方医の署名の有無



2) 後発医薬品への変更割合（処方せん枚数ベース）

1ヶ月全体の取り扱い処方せん枚数（969,365枚）のうち、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん（165,402枚）について、それらの後発医薬品への変更状況を調査したところ、「後発医薬品に変更した」のは5.7%（=9,452/165,402）であった。また、「すべての銘柄について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更することができない」が8.6%（=14,278/165,402）であった。

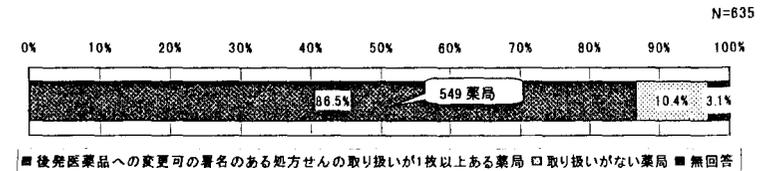
図表 13 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん（N=165,402）における、後発医薬品への変更状況



3) 後発医薬品への変更割合（薬局数ベース）

平成18年10月1ヶ月間全体で、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんの取り扱いが1枚以上あった薬局は86.5%（549薬局）であった。

図表 14 1ヶ月間の取り扱い処方せんのうち、後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局数の割合



図表 15 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験（主な処方せん発行医療機関別）

医療機関別	合計	1枚以上あり	なし	無回答
合計	635	549 (86.5%)	66 (10.4%)	20 (3.1%)
病院	208	184 (88.5%)	18 (8.7%)	6 (2.9%)
診療所	422	361 (85.5%)	48 (11.4%)	13 (3.1%)
無回答	5	4 (80.0%)	-	1 (20.0%)

図表 16 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験（薬剤師数別）

薬剤師数別	合計	1枚以上あり	なし	無回答
合計	635	549 (86.5%)	66 (10.4%)	20 (3.1%)
1~2人未満	170	135 (79.4%)	29 (17.1%)	6 (3.5%)
2~3人未満	245	218 (89.0%)	23 (9.4%)	4 (1.6%)
3人以上	217	193 (88.9%)	14 (6.5%)	10 (4.6%)
無回答	3	3 (100.0%)	-	-

さらに、取り扱い処方せん枚数別にみると目立った傾向はみられていないが、薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数が増えるほど、後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんの取り扱い経験は少ない。

また、平成 18 年 10 月における後発医薬品の備蓄品目数別にみると、備蓄品目が多いほど、後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんの取り扱い経験が多い傾向が見られた。

図表 17 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験
(取り扱い処方せん枚数別)

	合計	1枚以上あり	なし	無回答
合計	635	549 86.5%	66 10.4%	20 3.1%
500枚未満	66	59 89.4%	5 7.6%	2 3.0%
500～1000枚未満	161	140 87.0%	18 11.2%	3 1.9%
1000～1500枚未満	157	135 86.0%	21 13.4%	1 0.6%
1500～2000枚未満	94	81 86.2%	9 9.6%	4 4.3%
2000枚以上	150	134 89.3%	13 8.7%	3 2.0%
無回答	7	-	-	7 100.0%

図表 18 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験
(薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数別)

	合計	1枚以上あり	なし	無回答
合計	635	549 86.5%	66 10.4%	20 3.1%
300枚未満	66	63 95.5%	2 3.0%	1 1.5%
300～500枚未満	141	123 87.2%	12 8.5%	6 4.3%
500～1000枚未満	354	310 87.6%	39 11.0%	5 1.4%
1000枚以上	64	50 78.1%	13 20.3%	1 1.6%
無回答	10	3 30.0%	-	7 70.0%

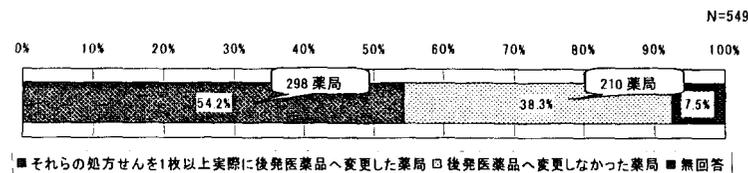
図表 19 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験
(平成 18 年 10 月における後発医薬品備蓄品目数別)

	合計	1枚以上あり	なし	無回答
合計	635	549 86.5%	66 10.4%	20 3.1%
20品目未満	42	27 64.3%	14 33.3%	1 2.4%
20～50品目未満	155	127 81.9%	26 16.8%	2 1.3%
50～100品目未満	181	164 90.6%	13 7.2%	4 2.2%
100品目以上	201	188 93.5%	8 4.0%	5 2.5%
無回答	56	43 76.8%	5 8.9%	8 14.3%

このうち、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った 1 枚以上あった 549 薬局のうち、それらの処方せんを 1 枚以上実際に後発医薬品へ変更した薬局は 54.2% (298 薬局)、1 枚も後発医薬品へ変更しなかった薬局は 38.3% (210 薬局) となっている。

また、薬剤師数別にみると、薬剤師数が多いほど変更した割合が高い傾向が見られる。

図表 20 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局 (549 薬局) のうち、実際に後発医薬品に変更した薬局数の割合



図表 21 後発医薬品への変更状況 (主な処方せん発行医療機関別)

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 (54.3%)	210 (38.3%)	41 (7.5%)
病院	184	112 (60.9%)	59 (32.1%)	13 (7.1%)
診療所	361	185 (51.2%)	149 (41.3%)	27 (7.5%)
無回答	4	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)

図表 22 後発医薬品への変更状況 (薬剤師数別)

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 (54.3%)	210 (38.3%)	41 (7.5%)
1~2人未満	135	56 (41.5%)	67 (49.6%)	12 (8.9%)
2~3人未満	218	126 (57.8%)	79 (36.2%)	13 (6.0%)
3人以上	193	114 (59.1%)	63 (32.6%)	16 (8.3%)
無回答	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-

さらに、薬局の取り扱い処方せん枚数別には目立った傾向はみられないが、薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数が増えるほど、実際の後発医薬品への変更割合 (薬局ベース) は減少している。

図表 23 後発医薬品への変更状況 (取り扱い処方せん枚数別)

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 (54.3%)	210 (38.3%)	41 (7.5%)
500枚未満	59	32 (54.2%)	21 (35.6%)	6 (10.2%)
500~1000枚未満	140	72 (51.4%)	61 (43.6%)	7 (5.0%)
1000~1500枚未満	135	73 (54.1%)	52 (38.5%)	10 (7.4%)
1500~2000枚未満	81	44 (54.3%)	31 (38.3%)	6 (7.4%)
2000枚以上	134	77 (57.5%)	45 (33.6%)	12 (9.0%)
無回答	-	-	-	-

図表 24 後発医薬品への変更状況 (薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数)

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 (54.3%)	210 (38.3%)	41 (7.5%)
300枚未満	63	40 (63.5%)	19 (30.2%)	4 (6.3%)
300~500枚未満	123	69 (56.1%)	42 (34.1%)	12 (9.8%)
500~1000枚未満	310	167 (53.9%)	122 (39.4%)	21 (6.8%)
1000枚以上	50	20 (40.0%)	26 (52.0%)	4 (8.0%)
無回答	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-

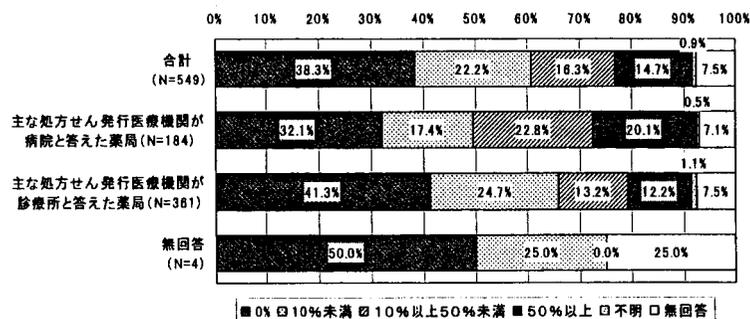
図表 25 後発医薬品への変更状況（平成 18 年 10 月における後発医薬品備蓄品目数別）

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 54.3%	210 38.3%	41 7.5%
20品目未満	27	15 55.6%	10 37.0%	2 7.4%
20～50品目未満	127	59 46.5%	59 46.5%	9 7.1%
50～100品目未満	164	88 53.7%	65 39.6%	11 6.7%
100品目以上	188	116 61.7%	62 33.0%	10 5.3%
無回答	43	20 46.5%	14 32.6%	9 20.9%

また、主な処方せん発行医療機関（病院・診療所）別に、後発医薬品への変更状況についてみると、それらの処方せんを 1 枚も後発医薬品へ変更しなかった薬局（後発医薬品への変更割合が 0%）は、主な処方せん発行医療機関が病院の薬局では 32.1%、診療所の薬局では 41.3%であり、主な処方せん発行医療機関が診療所の保険薬局の方が、後発医薬品へ一枚も変更しなかった薬局の割合が高い。

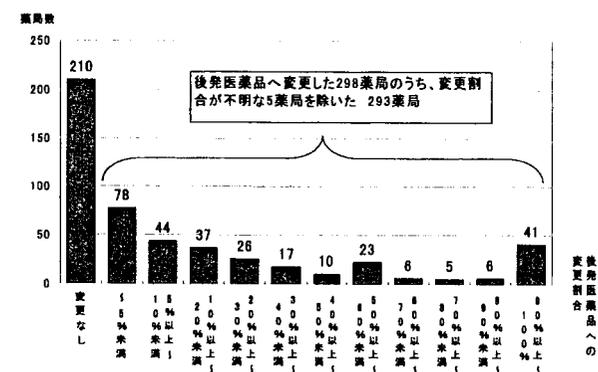
また、1 枚以上実際に後発医薬品へ変更した薬局における、後発医薬品への変更割合についてみると、全体的に病院の方が高くなっている。

図表 26 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局（549 薬局）のうち、実際に後発医薬品に変更した割合（主な処方せん発行医療機関別）



「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局において、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、実際に後発医薬品に変更した処方せんの割合についてみると、変更の割合が 5%未満である薬局が 78 薬局ある一方、変更の割合が 90%以上の薬局は 41 薬局あり、薬局ごとにばらつきが見られる。

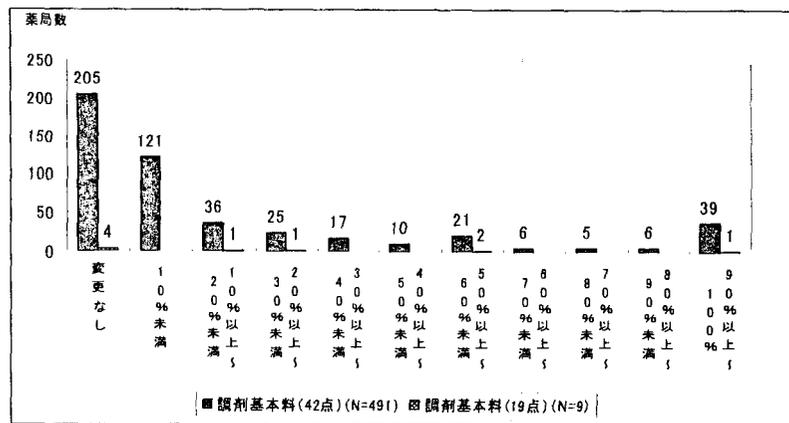
図表 27 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布



※ N は、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局数（549）から、変更割合が無回答の薬局（41）、および変更割合不明（5）を除いた 503 薬局。

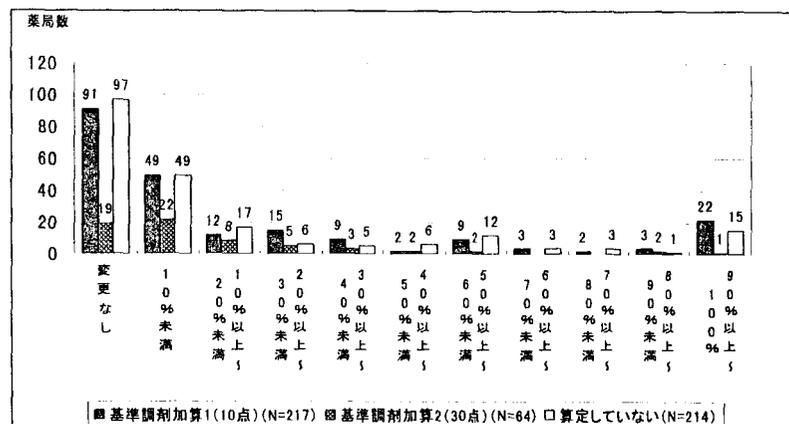
以下、調剤基本料別、基準調剤加算別、主な処方せん発行医療機関別の度数分布表を示す。

図表 28 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（調剤基本料別）



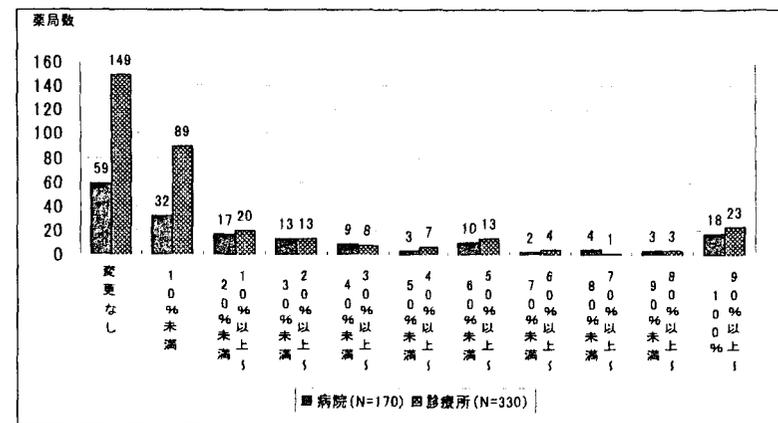
※変更割合不明、無回答は除く

図表 29 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（基準調剤加算別）



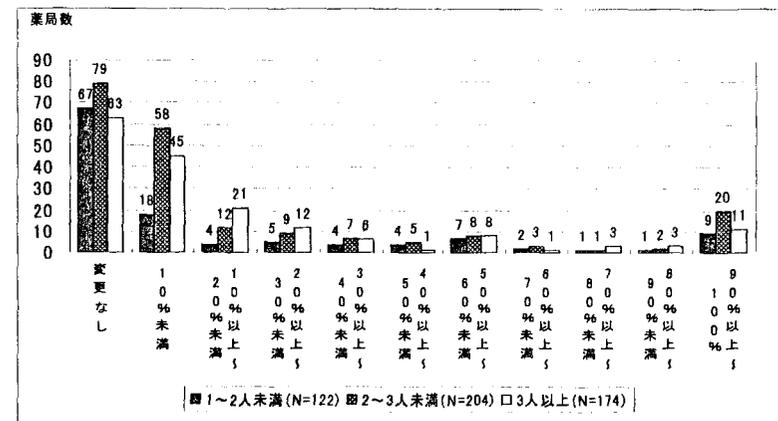
※変更割合不明、無回答は除く

図表 30 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（主な処方せん発行医療機関別）



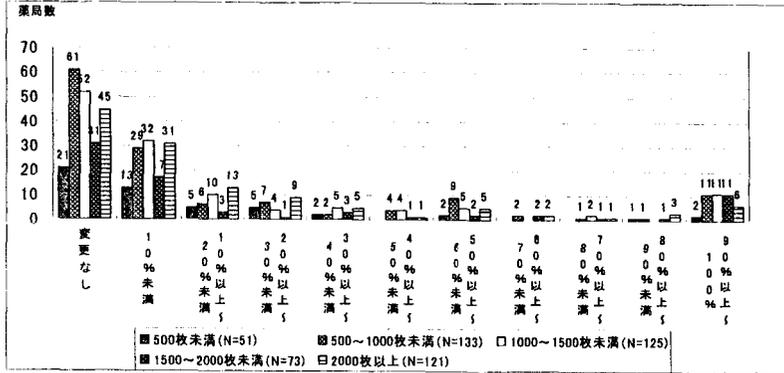
※変更割合不明、無回答は除く

図表 31 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（薬剤師数別）



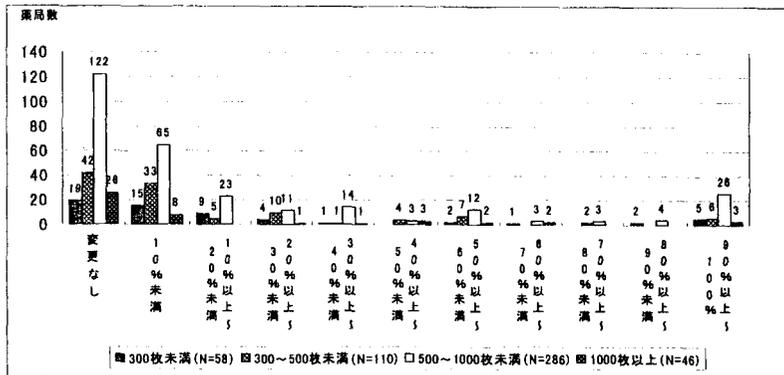
※変更割合不明、無回答は除く

図表 32 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（取り扱い処方せん枚数別）



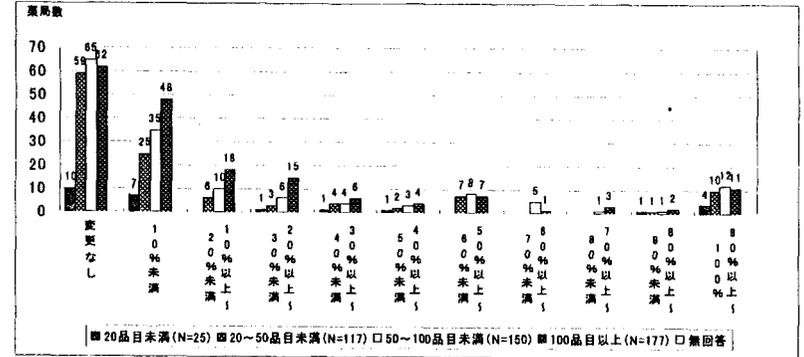
※変更割合不明、無回答は除く

図表 33 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数別）



※変更割合不明、無回答は除く

図表 34 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（平成 18 年 10 月における後発医薬品備蓄数別）



※変更割合不明、無回答は除く

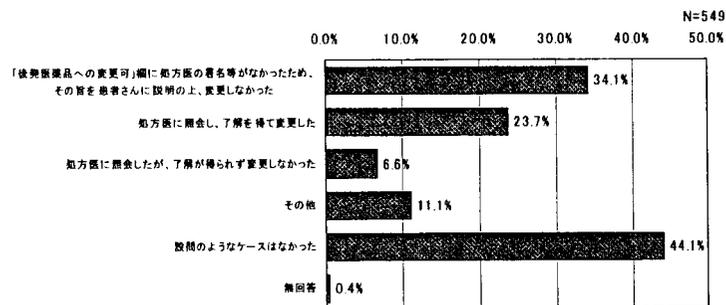
(4) 後発医薬品への対応の状況(平成18年10月)

平成18年10月1ヶ月全体で、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを1枚以上取り扱った経験のある549薬局における、後発医薬品への対応状況を調査した。

1) 患者が後発医薬品への変更を希望したが、処方せんの「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応

「設問のようなケースはなかった」(44.1%)が最も多く、次いで「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかったため、その旨を患者さんに説明の上、変更しなかった」(34.1%)、「処方医に照会し、了解を得て変更した」(23.7%)となっている。

図表 35 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応(複数回答)



図表 36 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応(複数回答: 主な処方せん発行医療機関別)

	合計	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た ケ ー ス は な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	無 回 答
合計	549	34.1%	23.7%	6.6%	11.1%	44.1%	0.4%	2
病院	184	41.3%	23.9%	6.0%	10.9%	42.4%	-	-
診療所	361	30.5%	23.5%	6.9%	11.1%	45.2%	0.6%	2
無回答	4	25.0%	25.0%	-	25.0%	25.0%	-	-

これを薬剤師数別、平成18年10月における取り扱い処方せん枚数別にみると、薬剤師数が多いほど、また、取り扱い処方せん枚数が多いほど、「設問のようなケース(患者が後発医薬品への変更を希望したが、処方せんの後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がなかった場合)はなかった」との回答が少なくなっていた。

図表 37 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応(複数回答: 薬剤師数別)

	合計	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	無 回 答
合計	549	34.1%	23.7%	6.6%	11.1%	44.1%	0.4%	2
1~2人未満	135	30.4%	11.9%	2.2%	8.9%	58.5%	-	-
2~3人未満	218	32.6%	25.2%	6.4%	10.1%	44.0%	0.9%	2
3人以上	193	38.3%	30.6%	9.8%	14.0%	33.7%	-	-
無回答	3	33.3%	-	-	-	66.7%	-	-

図表 38 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応(複数回答: 取り扱い処方せん枚数別)

	合計	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	か つ の 上 に 変 更 し な 説 明 の 上 に 照 会 し な か つ た	無 回 答
合計	549	34.1%	23.7%	6.6%	11.1%	44.1%	0.4%	2
500枚未満	59	35.6%	13.6%	3.4%	1.7%	55.9%	1.7%	1
500~1000枚未満	140	35.0%	17.1%	5.0%	9.3%	52.1%	-	-
1000~1500枚未満	135	25.9%	26.7%	6.7%	12.6%	43.0%	0.7%	1
1500~2000枚未満	81	35.8%	27.2%	4.9%	14.8%	39.5%	-	-
2000枚以上	134	39.6%	29.9%	10.4%	13.4%	34.3%	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

